

株式会社島津製作所(京都市)

廃プラスチック梱包材の自己循環利用

当社は、1875年に京都で創業した、分析計測器や医用画像診断機などを開発、製造、販売している会社です。

当社は環境経営を推進しており、その中で新品の素材から製造されたプラスチックであるヴァージンプラスチックの使用量削減を検討してきました。そこで、社内で使用している使い捨てのプラスチック製品を洗い出し、取り組みのターゲットとすることとしました。

当社の研究開発部門などでは、事業の中で発生する廃液をプラスチック容器に入れたまま廃棄します。そこで、廃液を入れる容器として、自社で

廃棄する予定のプラスチック梱包材をブレンドした容器を製作しました。現在では、この再生プラスチック含有容器が本社工場エリアで採用されています。

従来、廃液とともに廃棄されるプラスチック容器は、本社工場エリアで年間約1000~1200個使用されます。これらの容器を再生プラスチックが含有されたものにする事で、ヴァージンプラスチックの利用量を年間0.2~0.25t削減することができると考えています。

今後は、社内の他の事業エリアとともに、近隣の事業者にもこの枠組みに参加していただき、プラスチック循環の規模拡大を目指しています。すでに龍谷大学様とは「資源循環に関する包括連携協定」を締結し、その中でこの取り組みにも参加していただく事になっています。



再生プラスチック含有容器



株式会社島津製作所

住所:京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL:075-823-1111 FAX:075-823-2062
HP:<https://www.shimadzu.co.jp/>
設立:1875年3月 資本金:26,648百万円
業種:分析・計測機器、医用機器、航空機器、産業機器の研究開発・製造・販売。

当社はサーキュラーエコノミーへの移行に向け、「サステナブル素材普及委員会」を立ち上げ、当社の製品や周辺機器、備品などのプラスチックに対して、サステナブルな素材(再生プラスチック・バイオマスプラスチック・紙などのプラスチック以外の素材)の採用を推進しています。今回紹介する取り組みはその中から生まれた取り組みです。



マネージャー
三ツ松昭彦 さん